



2025年12月期第2四半期 決算説明資料

FIG株式会社 2025年8月8日



- 01 | **会社紹介**
- 02 | **2025年12月期第2四半期決算概要**
- 03 | **事業のトピックス**
- 04 | **補足資料**

01 | 会社紹介



会社名 FIG株式会社 (Future Innovation Group, Inc.)

設立日 2018年7月2日 ※グループ前身のモバイルクリエイイト設立は2002年

代表者 代表取締役社長 村井 雄司

所在地 大分県大分市東大道二丁目5番60号

資本金 20億円

従業員数 771名 (2024年12月末現在連結)





モバイルクリエイト

IoT・ペイメント

- ✓ IP無線システム
- ✓ 動態管理システム
- ✓ 車両配車運行管理
- ✓ ペイメントサービス



ケイティーエス

IoT・スマートホテル

- ✓ マルチメディアシステム
- ✓ IoT基板製造



REALIZE

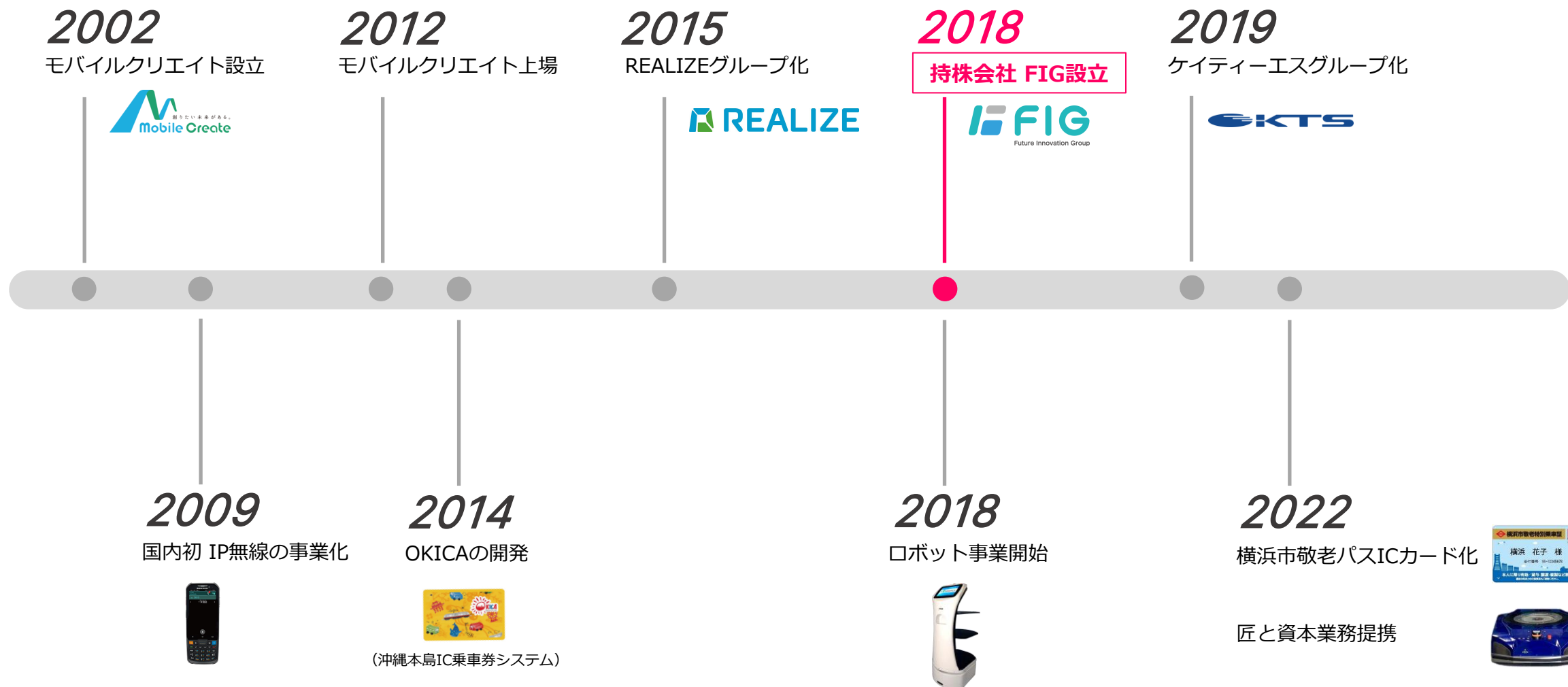
装置製造・ロボット

- ✓ 半導体・自動車関連装置
- ✓ 金型・精密加工
- ✓ ロボット

その他のグループ会社



- ✓ ドローン
- ✓ 物流システム



02 | 2025年12月期第2四半期決算概要

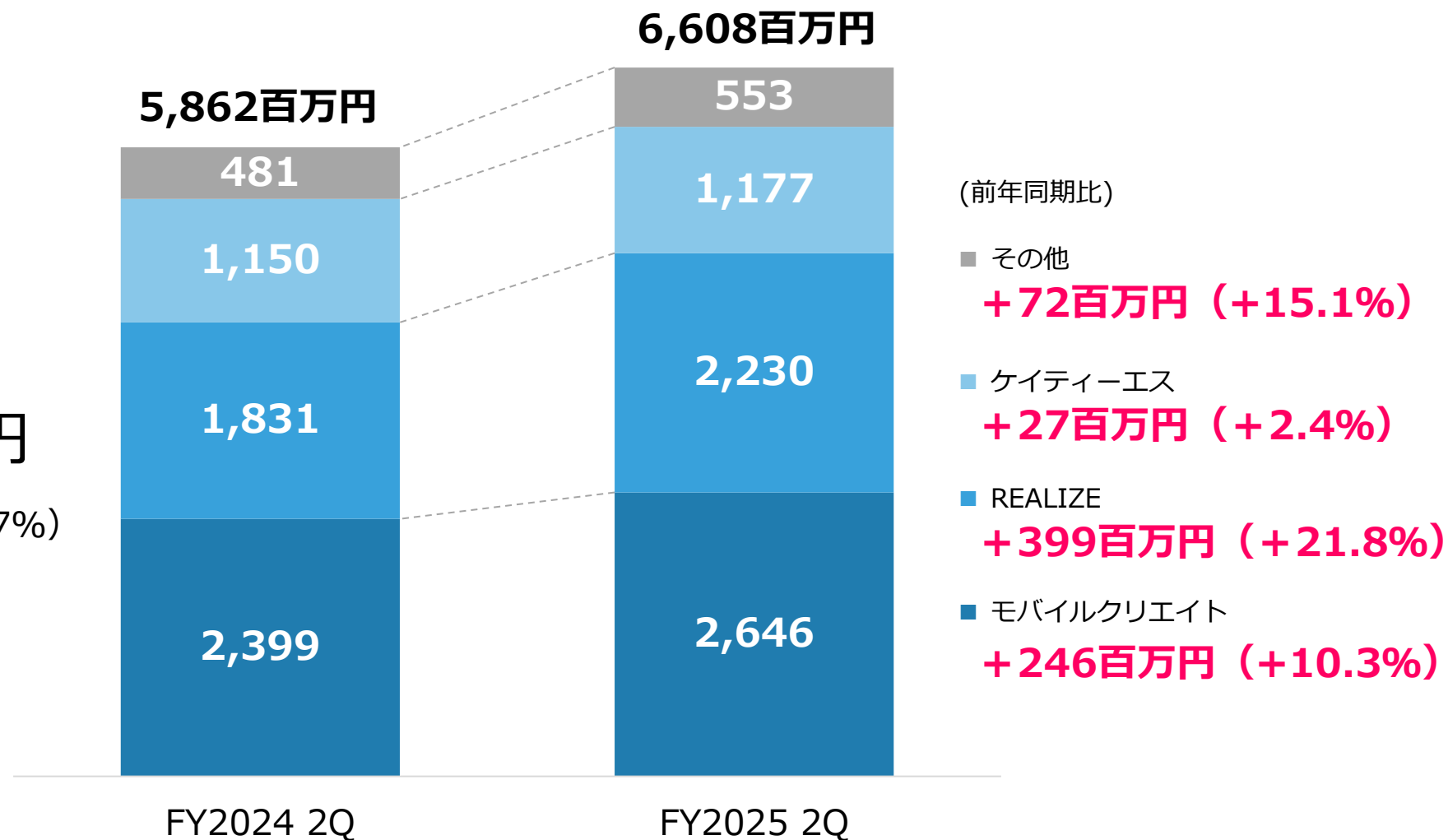
2Q累計の全体業績は、概ね想定どおりに推移

- **モバイルクリエイイト**は、1Q好調で2Qは巡航速度で推移、**下半期は導入案件多く堅調**な見込み。
- **REALIZE**は、1Qより2Qで回復したものの、依然として苦戦が続く。引き続き、**搬送ロボットや自動化市場の開拓**、先端半導体プロセスへの対応といった**中長期的な成長領域に向けた取り組み**を進めている。
- **ケイティーエス**は、アライアンス強化を積極的に推進、**想定より遅れているものの回復基調**。
- 重点分野である**搬送ロボット**は、純国産メーカーとしての認知度が向上しており、引き合いが増えてきている。引き続き純国産の搬送ロボットを強みとして、**国内を代表するロボットメーカー**を目指していく。
- 経営資源をコア事業と成長投資に集中させるため、業績が低迷していた子会社1社の全株式を譲渡（特別利益を計上）、**サブスク売上高は該当会社分が減少するものの全体業績には影響はなし**。

FY2025 2Q 売上高

66 億円

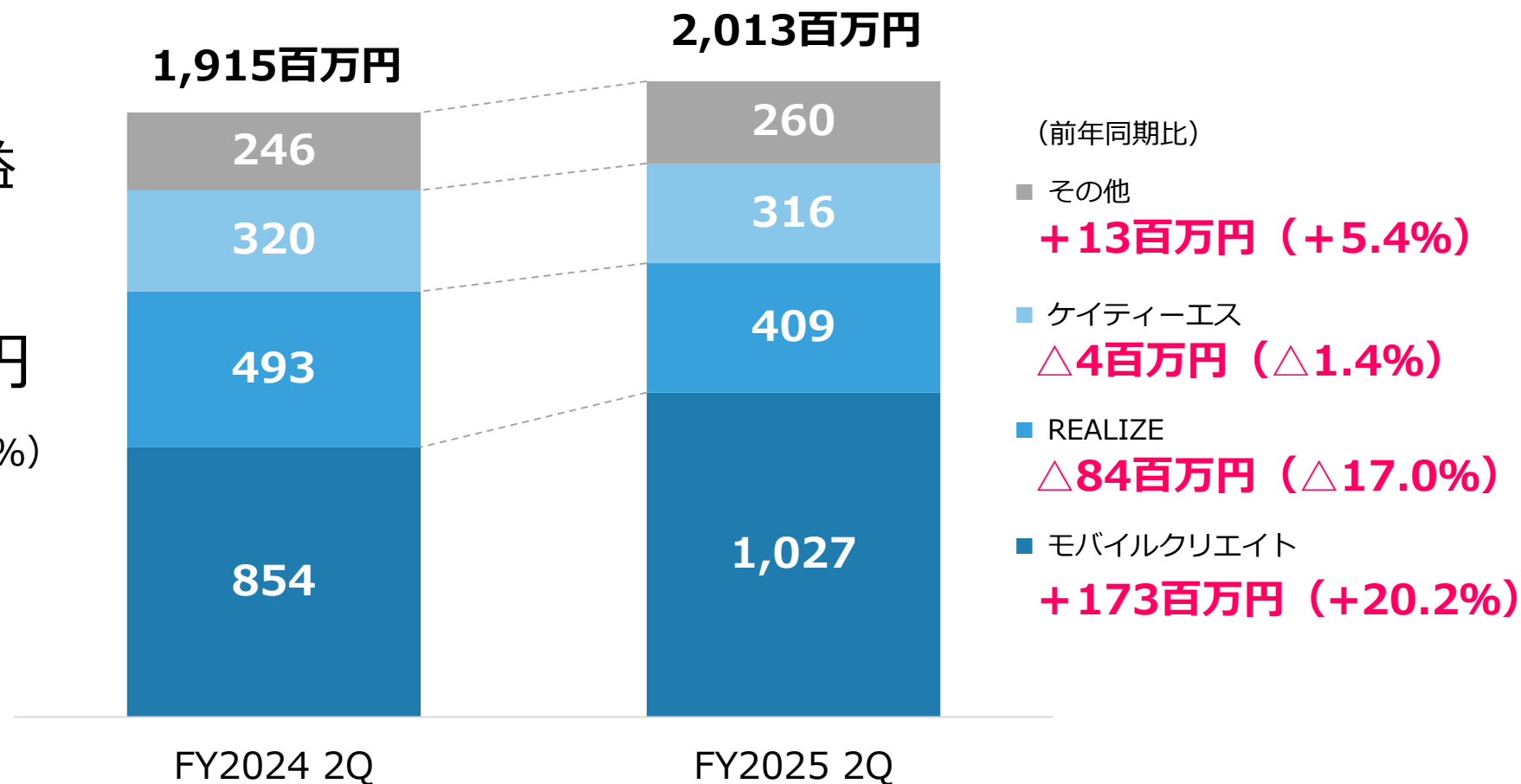
前年同期比：+746百万円（+12.7%）



FY2025 2Q 売上総利益

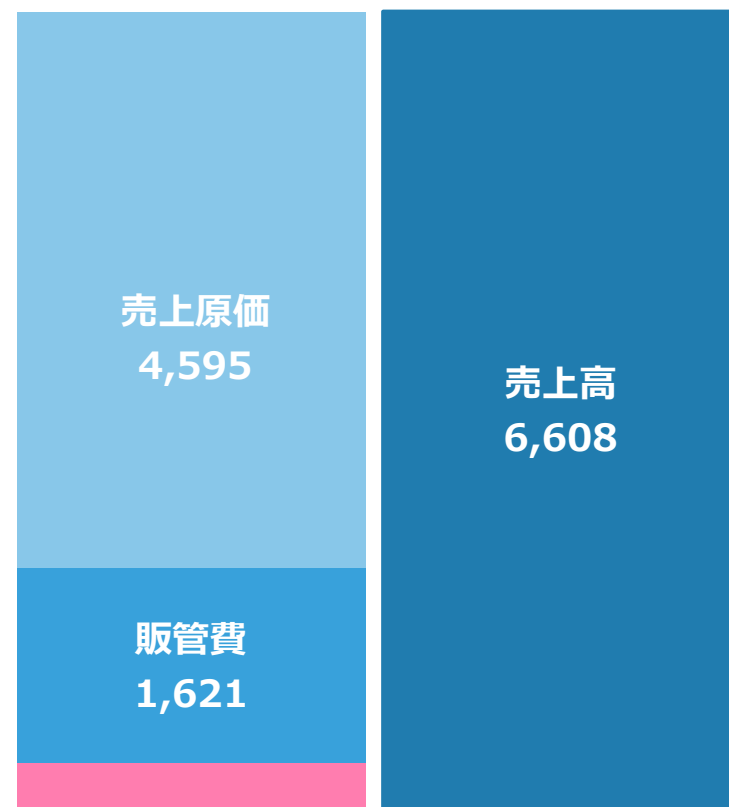
20 億円

前年同期比：+97百万円（+5.1%）



収益構造

（単位：百万円）

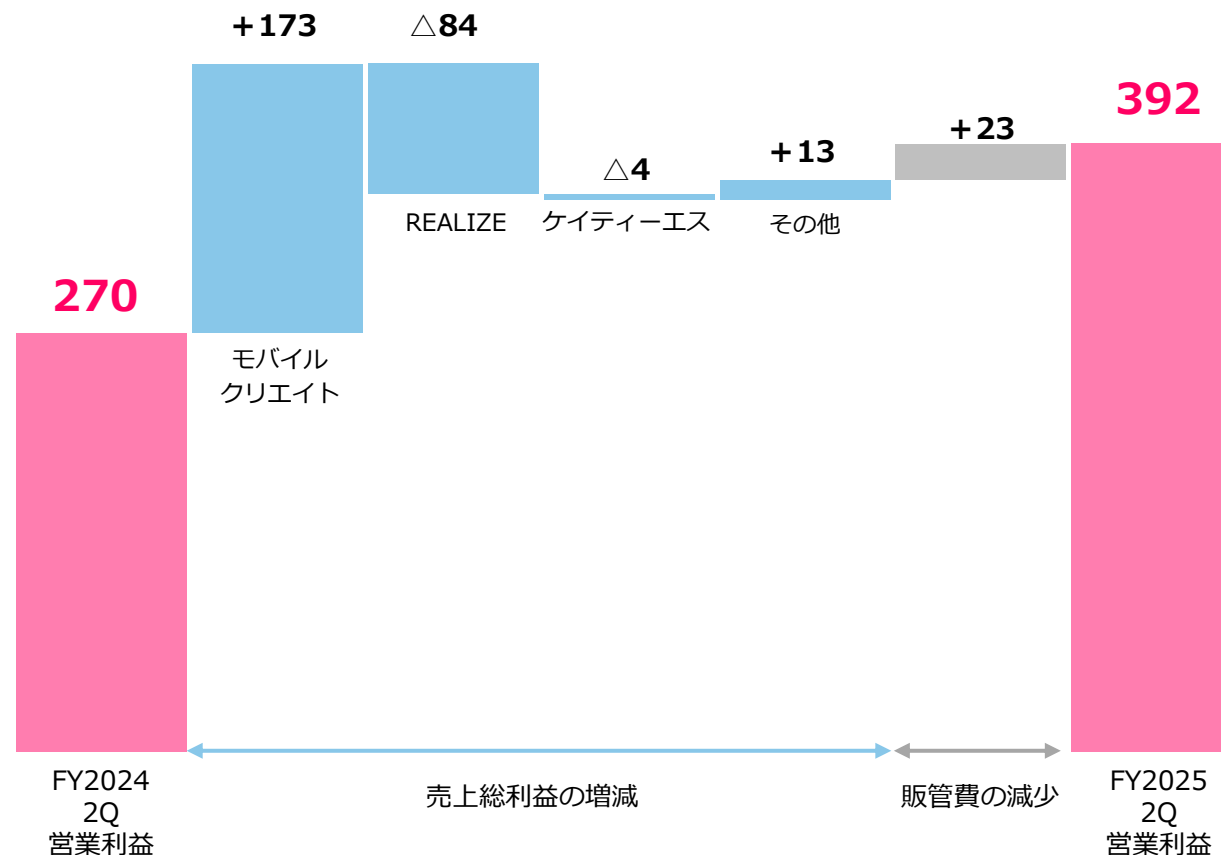


営業利益
392

営業利益 **3.9** 億円

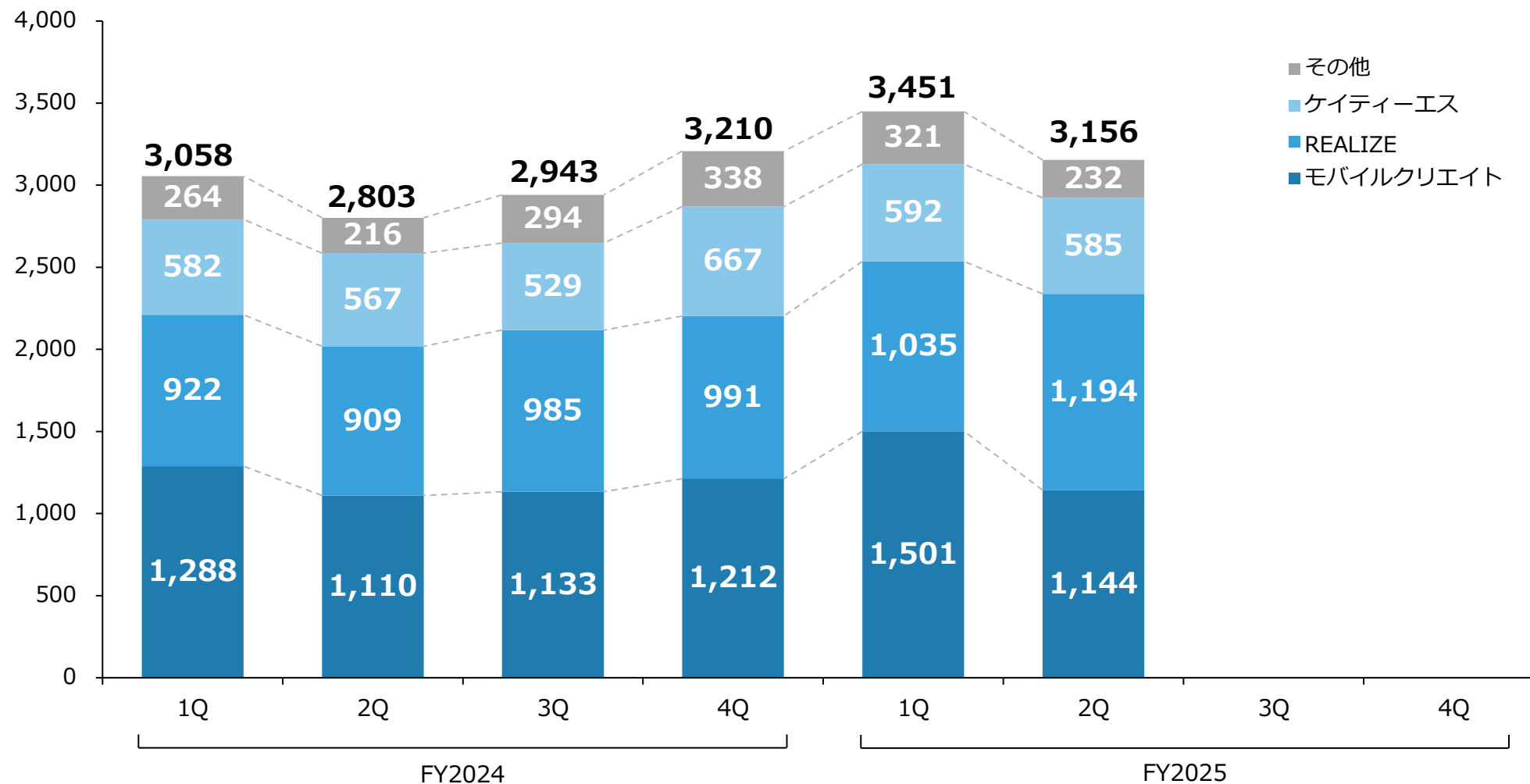
前年同期比：+121百万円（+45.0%）

（単位：百万円）

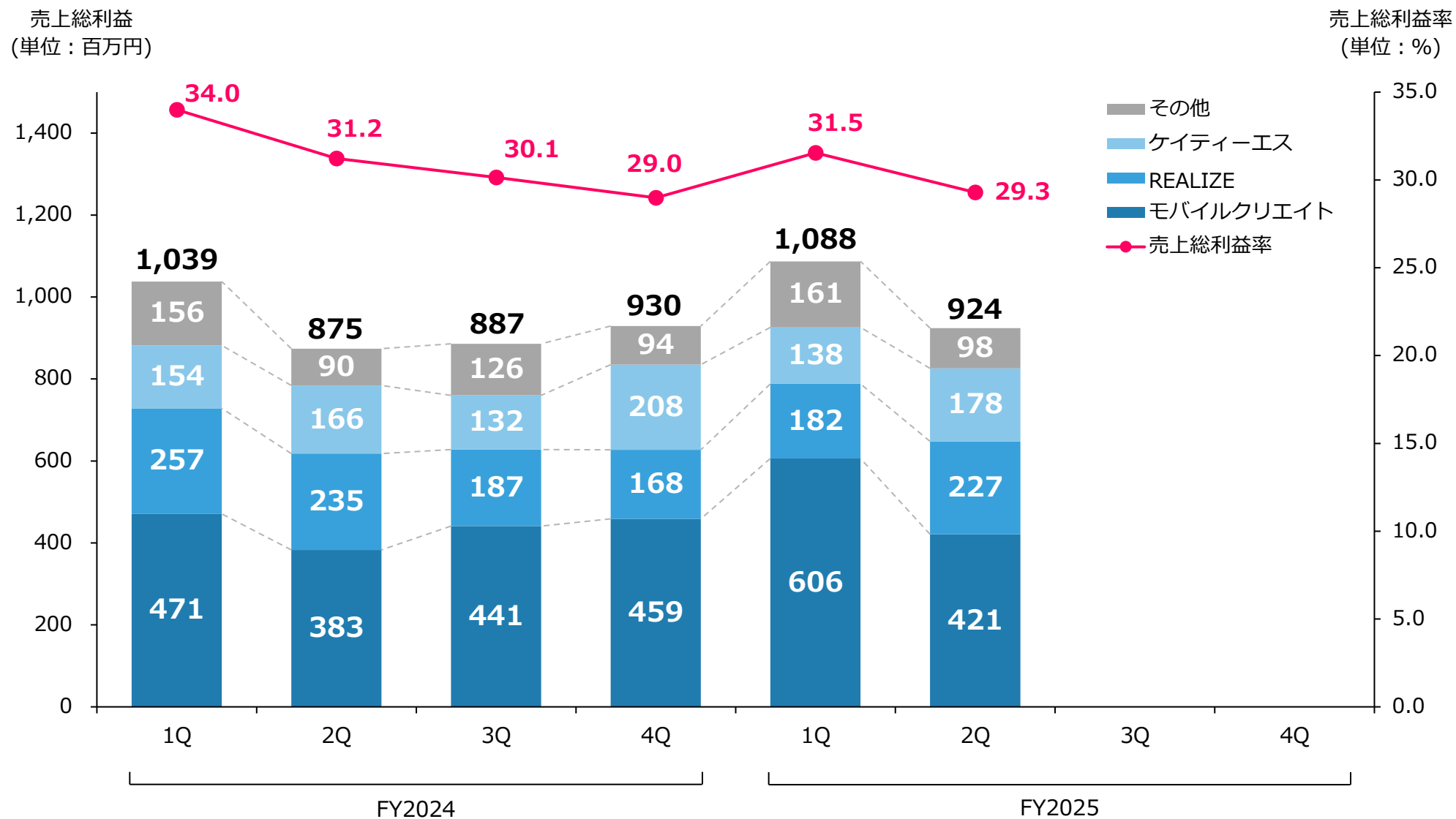


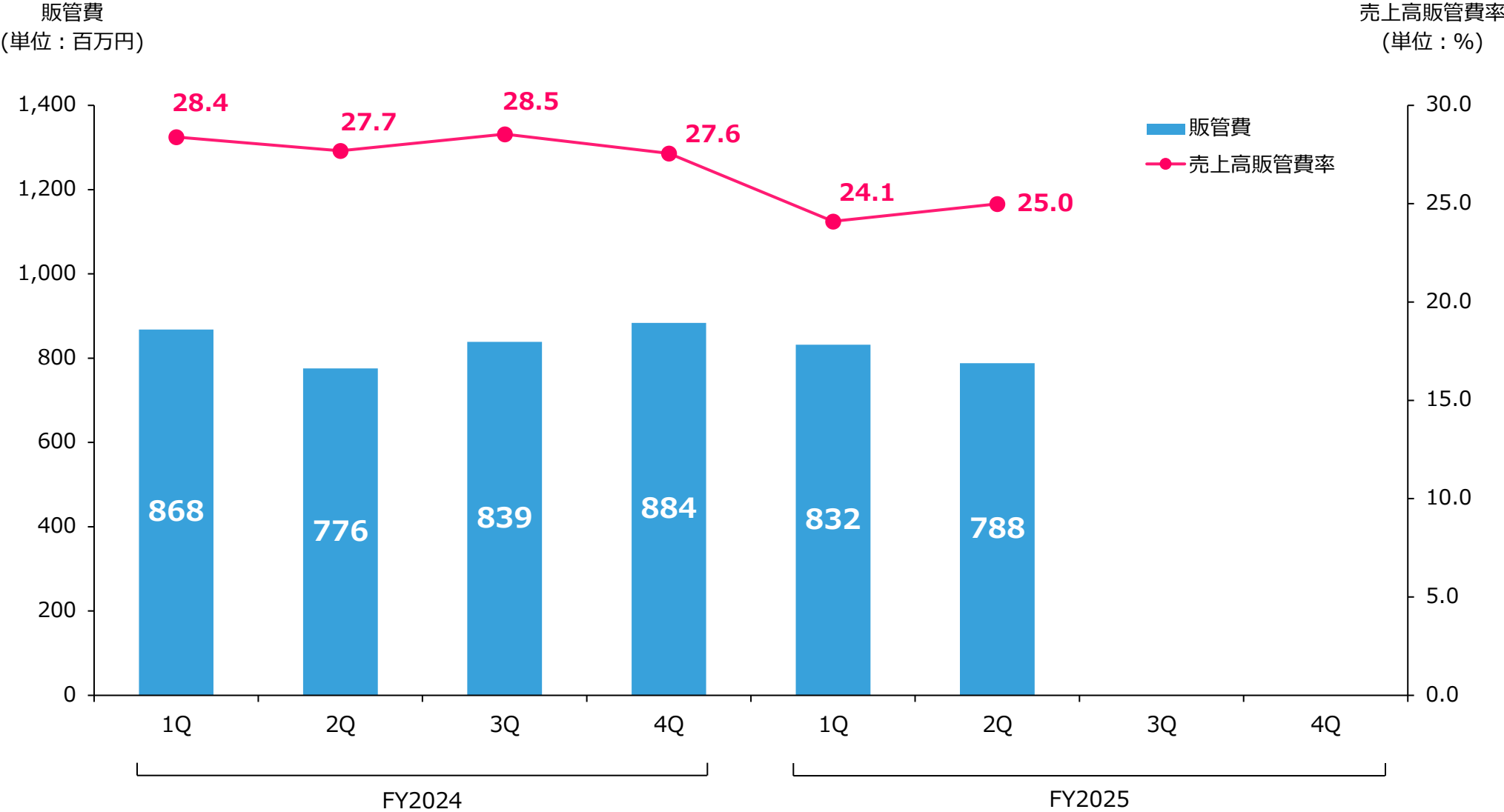
主要3社別 売上高 四半期推移

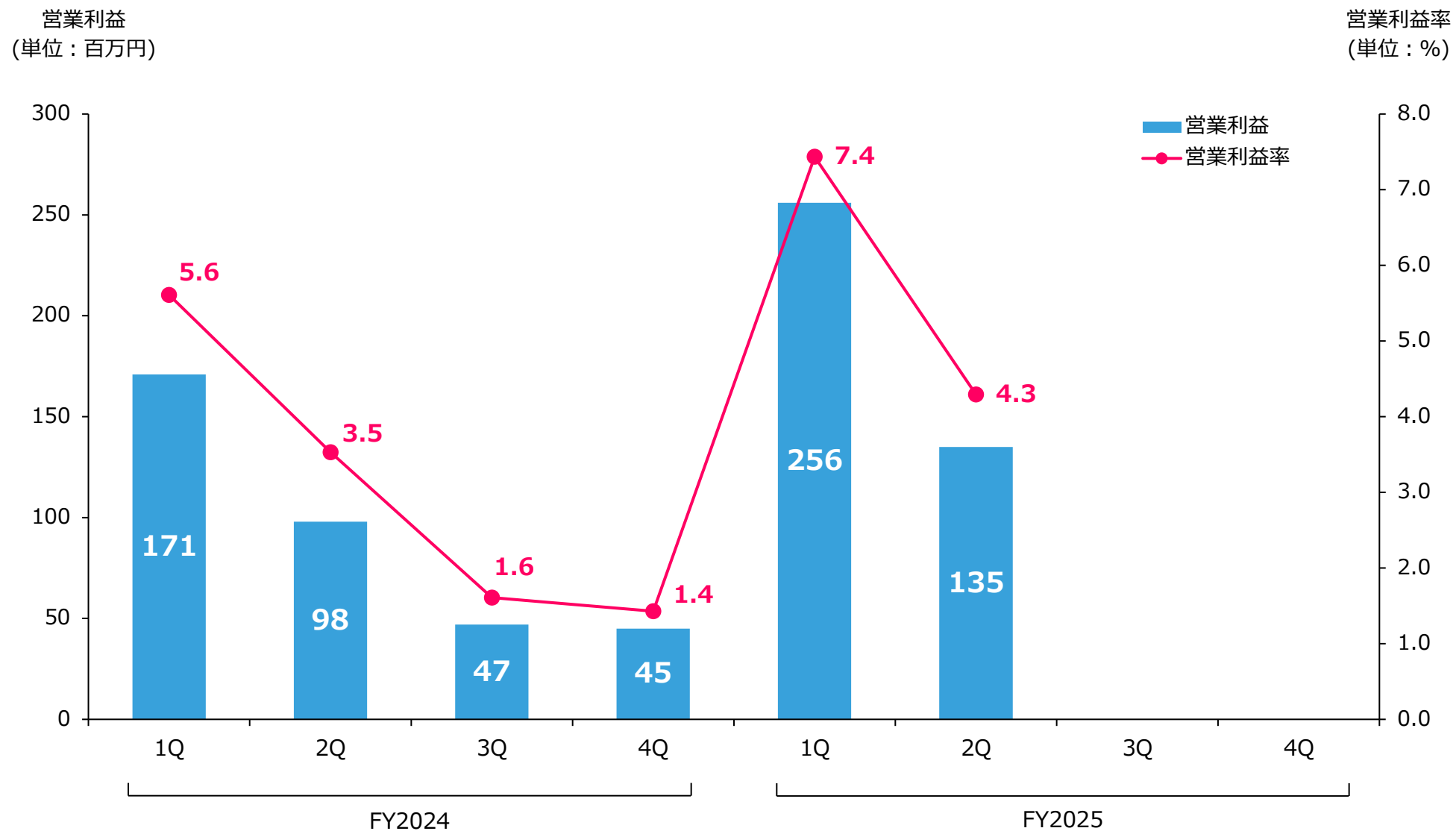
売上高
(単位：百万円)



主要3社別 売上総利益 四半期推移







連結損益計算書

(単位：百万円)

	FY2024 2Q実績	FY2025 2Q実績	前年同期比	通期計画	進捗率
売上高	5,862	6,608	+ 12.7%	13,600～14,500	48.6～45.6%
売上総利益	1,915	2,013	+ 5.1%	4,174～4,580	48.2～44.0%
販管費	1,644	1,621	△1.4%	—	—
営業利益	270	392	+ 45.0%	800～1,100	49.0～35.7%
経常利益	268	383	+ 42.6%	800～1,100	47.9～34.8%
最終利益	295	330	+ 11.9%	552～750	59.8～44.0%

※最終利益＝親会社株主に帰属する当期（中間・四半期）純利益

連結貸借対照表

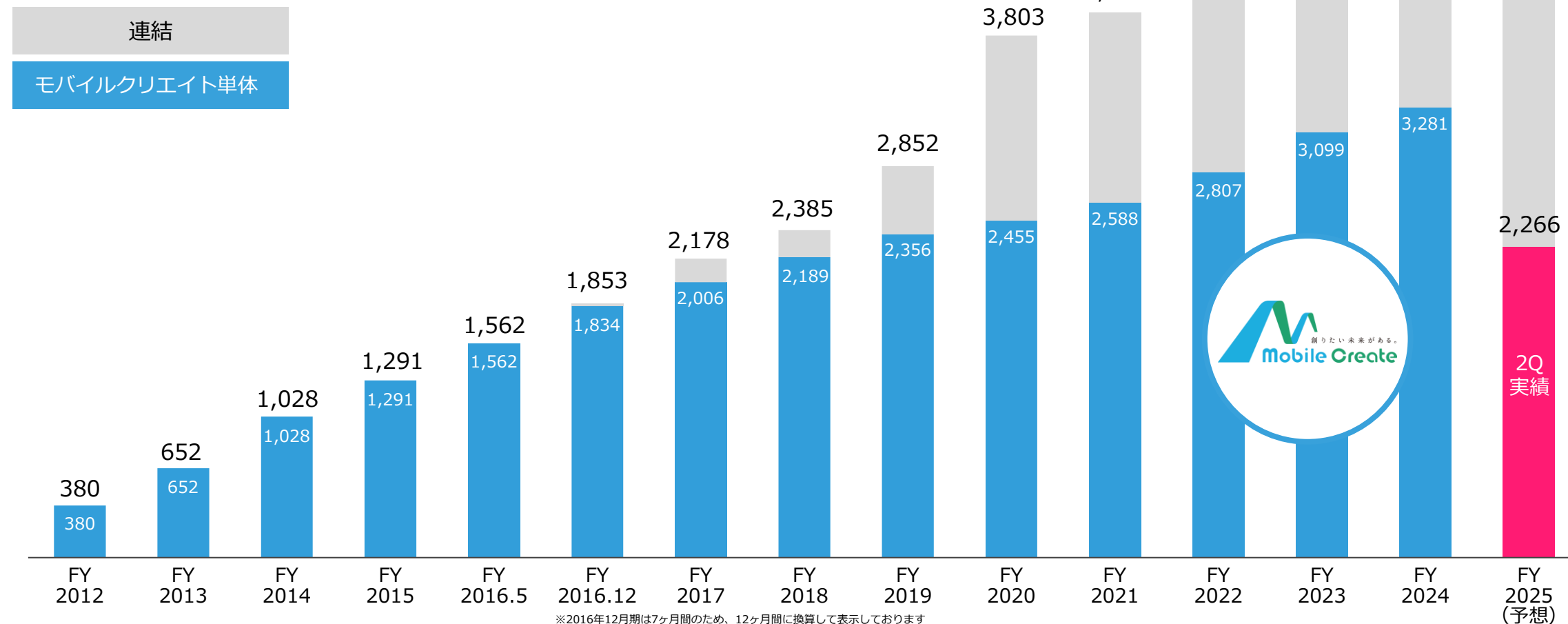
(単位：百万円)

	2024年12月31日	2025年6月30日	増減
現金預金	2,614	1,992	△621
その他流動資産	8,096	7,935	△160
固定資産	5,184	5,182	△2
資産合計	15,895	15,110	△784
有利子負債	4,264	3,429	△834
転換社債	500	500	—
その他負債	2,957	2,780	△177
負債	7,722	6,710	△1,011
純資産	8,172	8,399	226
負債・純資産合計	15,895	15,110	△784
自己資本比率	50.6%	54.7%	

（単位：百万円）

モバイルクリエイートのサブスクはモビリティ中心に順調に拡大

サブスク売上高を計上していた子会社の異動（株式譲渡）により、
2Qより該当会社分のサブスク売上高が減少
（全体業績に影響はないものの、サブスク売上高のレンジ予想を修正）

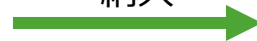


03 | 事業のトピックス



自社開発の搬送ロボットAMR
「WILL-SR」

納入



KDDI新本社外観イメージ
(中央が複合棟North)

実証実験



Gateway Park実証実験

WILL-SRの用途



会議室に設置された
QRコードを読み取り



独自開発した
アプリから注文



ドリンク
受取り

Gateway Park 実証実験概要

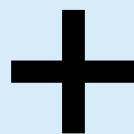
都市OS「TAKANAWA GATEWAY URBAN OS」と連携した防犯カメラで周囲の人数や性別などを解析。商品のターゲット層が多く集まっているエリアに、ロボットが自動で移動する。到着後にロボットの扉が開き、商品を配布。

モバイルクリエイートの「IM-560」に株式会社オプティムの「OPTiM Biz」が対応し、
IP無線機×MDMで統合管理を実現



ハンディ型IP無線機

「IM-560」



OPTiM®

MDM(モバイルデバイス管理)

「OPTiM Biz」



- ✓リモートロック
- ✓アプリケーションの配信・制御
- ✓Webフィルタリング
- ✓キッキング作業の自動化
- ✓設定一括変更 etc.

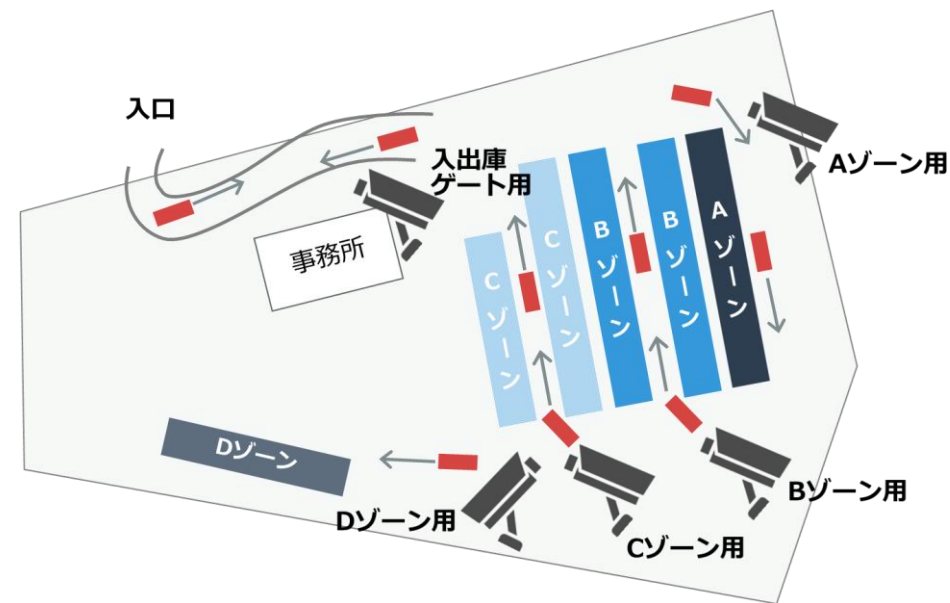


iMESHの全国導入台数 約14万台 のうち、
自治体導入実績は 5,000台超

運用効率向上と
紛失時のセキュリティ対策強化を実現

交通分野の課題をAIにより業務効率化

京阪バス枚方営業所にてAIカメラによる車両の入出庫・駐車位置の画像認識管理システムを導入



背景・課題

- ✓ 営業所移転に伴い管理対象の車両台数が大幅に増加
- ✓ バス入出庫や駐車位置の把握、効率的な運用ニーズの高まり

導入したシステムのポイント

- ✓ AIカメラによるリアルタイム認識で車両を管理
- ✓ AIカメラがバスの入出庫と駐車ゾーンの状況をリアルタイムで認識し、所定のデジタルサイネージに情報を表示

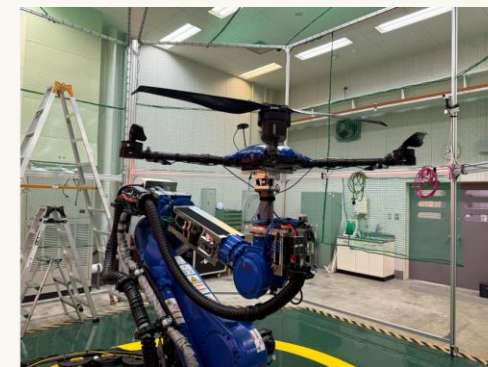
ニデック株式会社がciRoboticsのドローンアナライザーを活用



ドローンアナライザー

ciRobotics株式会社と大分県産業科学技術センターが共同開発した大型ドローン性能評価装置

ニデックが実施した性能試験の様子（ドローン用ESCの性能試験）



- ✓屋外での実飛行に加え、ドローンアナライザーを用いた動力性能試験、浮上力評価、振動性能試験など、多面的な検証が行われた
- ✓ドローンアナライザーによる試験結果を踏まえて ESC の調整を行ったことで、正常な飛行が可能であることが確認され、ESCの性能向上につながった



ドローン用ESC (Electric Speed Controller)



バッテリーから供給される電力をモーターに伝え、その電力量を調整することで、プロペラの回転速度を制御し、ドローンの飛行を可能にする電子部品

ciRoboticsのドローンを活用した米作りを実施

- ✓宮崎県日向市、大分県大分市、由布市の実際の圃場で、耕耘から収穫までの工程にciRoboticsのドローンを活用する実証プロジェクトを実施
- ✓地域農業や実証データと連携したアップデートを進め、人手や作業時間を大幅に削減できるスマート農業の実現に貢献

スマート農業



ドローン直播の様子



殺虫殺菌防除の様子



雑草防除の様子

R-17 V2



- ✓ブロー式散布装置を取り付けることで肥料や種もみの均一散布が可能
- ✓速度制限機能や速度連動散布機能などで空中からの安定した散布を実現



生育・収量の比較結果

同一条件で育てた移植栽培の稲との比較では、ドローン直播でも生育状況・収量ともにほぼ同等の結果が得られた

**生育状況・収量を落とすことなく
省力化・効率化を実現**

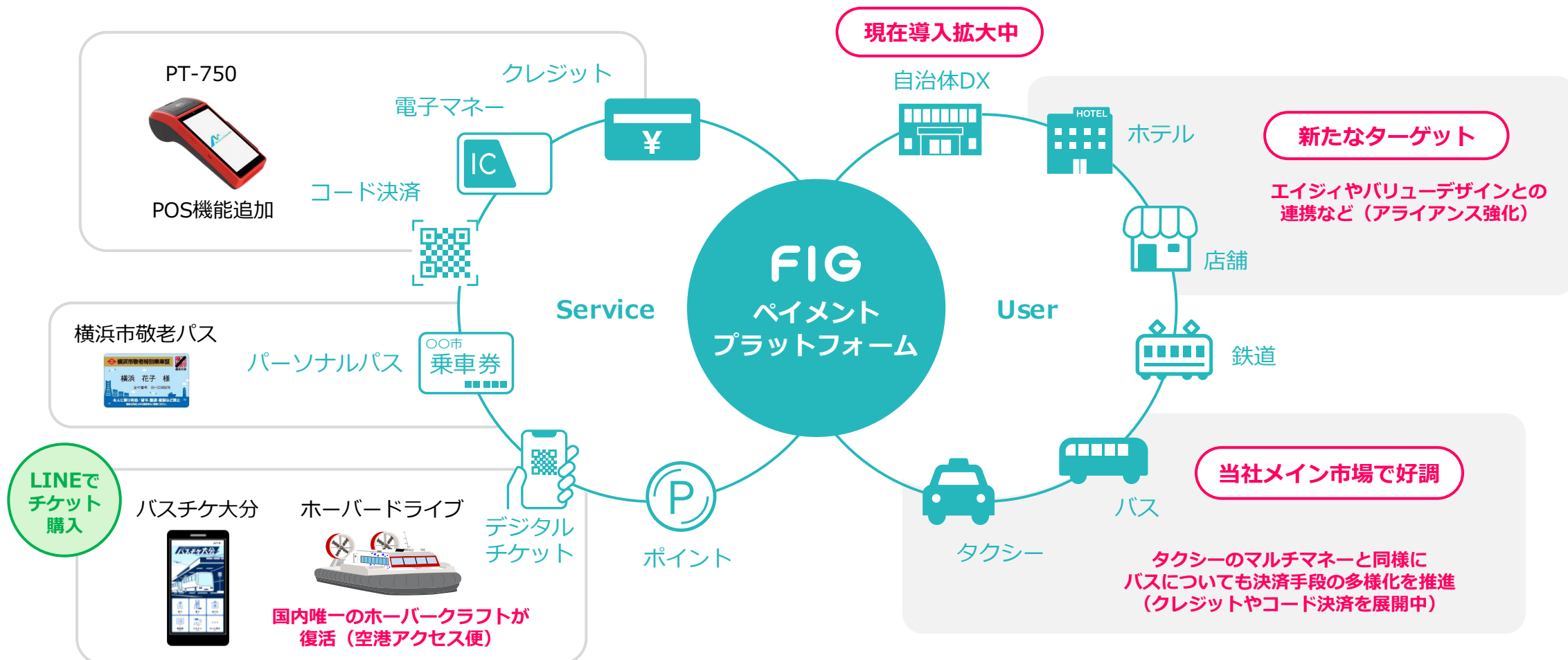


その他実証実験事例（鳥害対策用テグス張り）



- ✓水面から約1メートルの高さに2メートル間隔で合計800メートルのテグス張り
- ✓20アールの水田では、3人の作業者がわずか6分で作業を完了

ペイメントは順調に拡大中、得意の公共交通分野から新市場を開拓中 新たな生活領域にも展開を加速



04 | 補足資料

IoT+モノづくりの技術で安全・効率・快適なヒトとモノの移動を支える
+ 人手不足を解消するため自動化への取り組みを強化

タクシー配車 バスロケーション
トラック動態管理 ドローン

IP無線
移動通信

モビリティ

公共交通運賃決済
ペイメント

移動

今後注力分野（工場・倉庫）

+ 自動化

装置・ロボット・上位システム連携

宿泊

マルチメディアシステム

マテハン

搬送ロボット（AGV・AMR）

ソフトウェア × ハードウェア × 通信の技術力に強み

✓ **IP無線**のパイオニア（物流メインに**車載導入No.1**）

✓ 交通分野に強い（タクシー配車とバス運行管理 + **ペイメントサービス**）

タクシーシステム導入台数**27,700**台（全国約20万台の**14%**）※法人・個人タクシー

バスシステム導入台数**17,400**台（全国約5.5万台の**31%**）※乗合バス

✓ モバイルクリエイトの**サブスク売上**（通信契約**15万回線**）



✓ 情報通信業（バーチャル） + 製造業（リアル）で**国産搬送ロボット**を展開

まずは主要3社をしっかりと成長路線に乗せる

事業ポートフォリオの見直しについても継続的に行い、選択と集中やグループ再編等も検討

モバイルクリエイト

オーガニック成長+AI活用で
グループを牽引

IP無線特需獲得
サブスク拡大

ペイメント
公共交通分野
+
新市場開拓

IoT・AI
新サービス開発

REALIZE

チェンジとチャレンジで
拡大路線へ舵取り

ロボット開発強化
自動化装置市場開拓

海外市場
への取り組み

先端半導体工程
への取り組み

新製品、金型、
加工部品強化

ケイティーエス

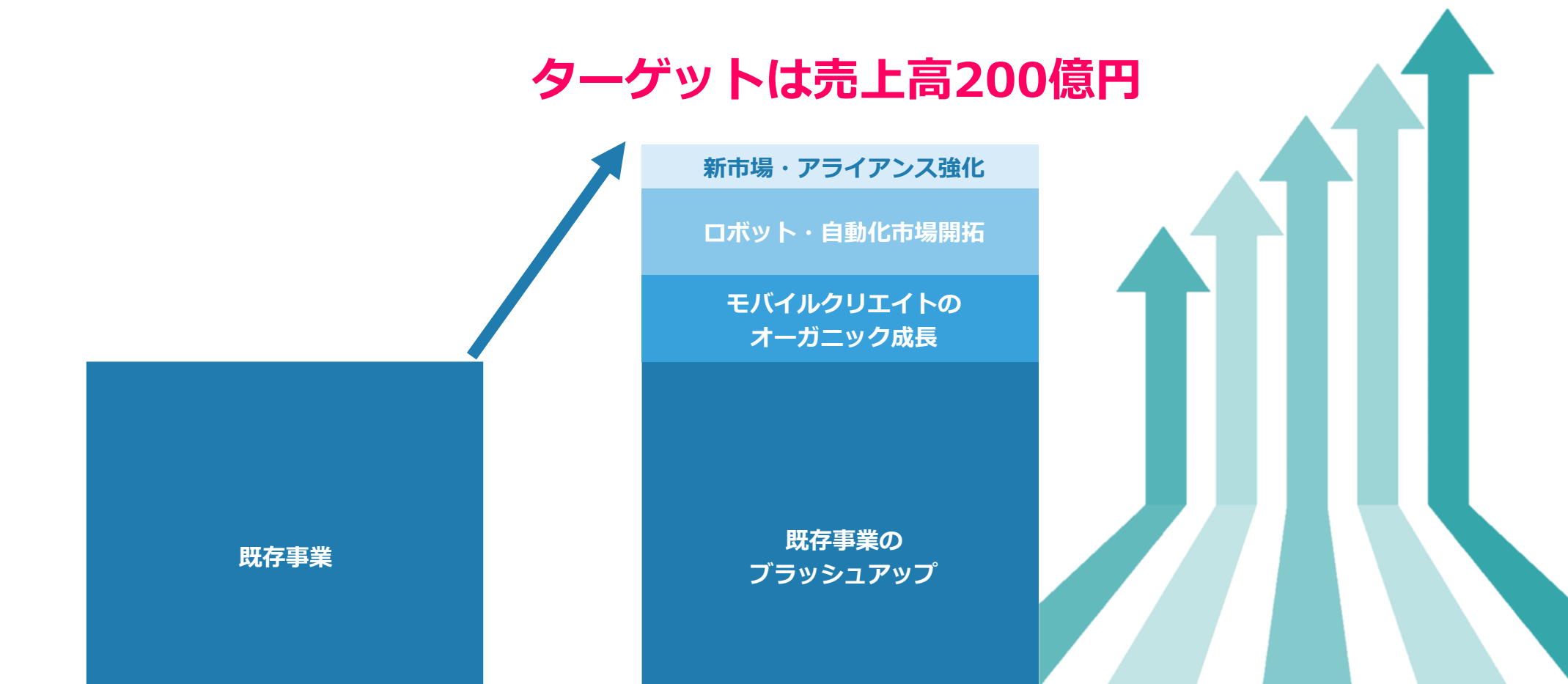
協業・提携・OEM/ODMなど
アライアンス強化

SiTV導入強化
チェーンホテル展開
+
新市場開拓
(アライアンス強化)

ペイメントサービス
のホテル展開
(アライアンス強化)

IoT基板の
OEM/ODM拡大
(アライアンス強化)

中期経営計画（FY2022－FY2025）は、新たな成長基盤の確立ステージ 次のステージでの成長イメージ

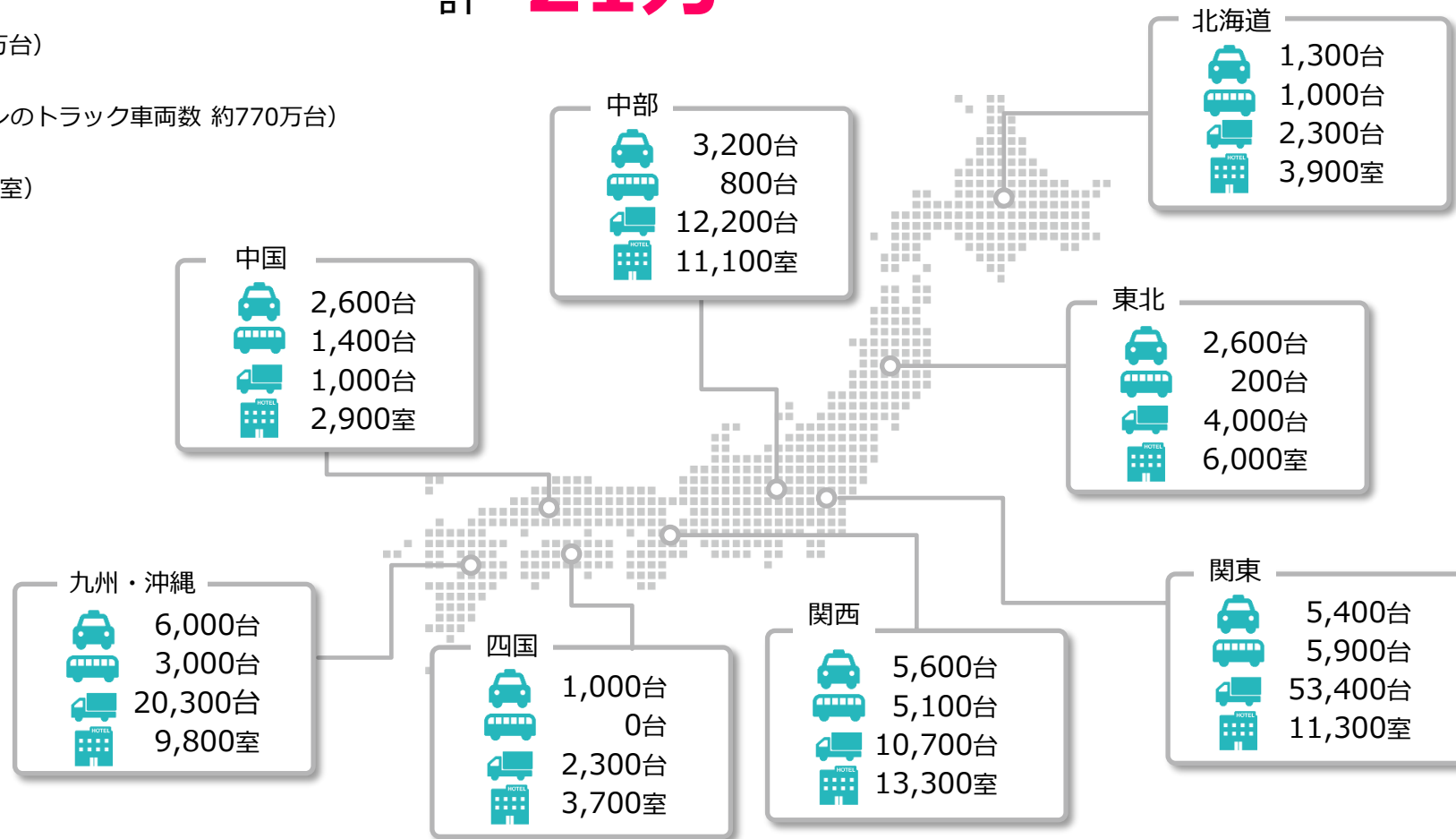


顧客基盤（月額サービス契約数）

2024年12月時点

-  タクシー 約27,700台
(シェア14%、タクシー車両数 約20万台)
-  バス 約17,400台
(シェア31%、乗合バス車両数 約5.5万台)
-  物流他 約106,200台
(IP無線車載タイプシェアNo.1、メインのトラック車両数 約770万台)
-  ホテル 約62,000室
(シェア3.5%、ホテル客室数 約177万室)
※旅館・ホテル営業の客室数

計 **21万**





Future Innovation Group

【 連絡先 】 F I G株式会社 経営企画本部
【 住所 】 大分県大分市東大道二丁目5番60号
【 T E L 】 097－576－8730

本発表において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報(forward-looking statements)」を含みます。
これらは現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。